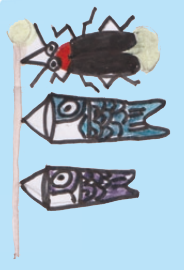


このページは、小・中学生に向けて梅光学院大学子ども学部子ども未来学科(地域共生ゼミ)の学生が作っています。

※イラスト 渡邊由季さん

しものせき キッズページ

しものせき 「下関のホタル」



▲ホタルの里ミュージアムの壁には、かわいいホタルの絵が描かれています。夜になると幻想的な光に包まれます。

豊田ホタルの里ミュージアム



「豊田ホタルの里ミュージアム」(豊田町中村)は、平成16年に、市民の教育と文化の向上、調査研究のために作られました。ホタルや、虫、自然、豊田町のことを紹介しています。

下関の虫・ホタルのことを知りたいた人はミュージアム内の「ホタルの光のワンダー」「ホタルシアター」「ホタル生態水槽」などのコーナーでワクワクドキドキしながら学習できます。豊田町を知りたい人は「豊田町情報ライブラリー」や「豊田町インフォメーション」のコー

ナーで自然や名所、旧跡が分かります。

ホタルのことなら何でも分かる



「ようこそゲンジボタルの世界へ」のコーナーではホタルの一生を体験できます。ホタルはふ化してから成虫になるまで約1年かかります。ふ化したらすぐに水の中に入ります。幼虫で冬を越し、一生の大部分は水中で生活するのです。「ホタルの生態水槽」では、水中で過ごすホタルが育つのに必要な環境について知ることができます。「ゲンジボタルの謎に迫ろう」では、ホタルの種類や雄と雌の見分け方、どのような光り方をするのかなどを、実物、映像、パネルなどで分かりやすく説明しています。飛んでいるホタルのほとんどが雄で、光りながら雌を探します。成虫となり光を放って飛ぶホタルは水以外何も食べずに3日位で死んでしまうそうです。生命の光をともしながら飛んでいるのです。



▲ホタルの一生を体験できるコーナー。今日からあなたも"ホタル博士"



▲ゲンジボタルの成虫の頭部。光をよく受光できるように頭部の大部分が白になっています。

豊田町の自然を通して自然を学ぶ



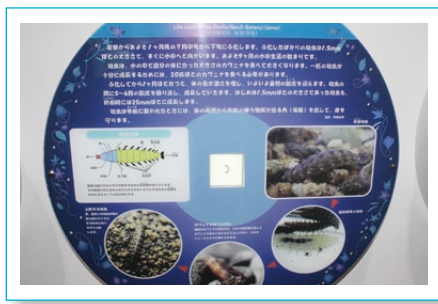
「豊田ホタルの里ミュージアム」はさまざまな自然について学ぶことができる自然史博物館です。ホタルをはじめ、豊田町に生息する水生生物や動植物の生態も展示しています。化石や岩石、鉱物や樹木、生物の標本もあり、自由に見ることが出来ます。豊田町の自然や歴史について学びたい人は、パソコンや約300冊の図鑑や図書で調べることができます。毎年6月上旬から見ごろを迎えるホタル。豊田町以外にも、市内では友田川(蒲生野や壇貝川)長府侍町でホタルを見ることが出来ます。皆さん見に行ってみませんか。

●お知らせ
ホタルの里ミュージアム5・6月のイベント案内を、7ページに掲載しています。毎年恒例のホタル舟の運航は、8ページで確認してください。

豊田ホタルの里ミュージアム
住所 豊田町中村50番地3
開館時間 午前9時～午後5時
電話 767-0350



5月号の編集記者(左から) 渡邊由季さん、檀綾花さん



▲ゲンジボタルの一生を、パネルを使って分かりやすく紹介しています。



▲生き物の標本を展示。カワニナ(上)、チョウ(下)。ゲンジボタルの幼虫は、カワニナを食べます。